

刈谷市 歴史の小径

れきしのこみち

城下町周辺・元刈谷編



刈谷市歴史博物館
KARIYA city Museum of History

城下町周辺①松秀寺

元刈谷 散策ルート



本刈谷神社

① 刈谷古城跡 【かりやこじょうあと】

文明8年(1476)頃、知多郡緒川城主の水野貞守が刈谷進出の際に築いたとされる。禅僧万里集九の紀行文「梅花無尽蔵」には「刈屋城」の記述がある。貞守のあと賢正、清忠と支配した後、天文2年(1533)に北方約1kmの地に新たな城を築いたため廃城となり、今はその痕跡をとどめていない。

② 本刈谷貝塚 【もとかりやかいづか】

本刈谷神社境内に広がる縄文時代晩期の貝塚で、ハイガイを主体とする貝層からは、土器や石器、骨角器や装飾品など、多様な遺物が出土した。縄文土器の一部は「元刈谷式土器」と呼ばれ、年代の指標となっている。当時の墓も多く、「盤状集骨墓」という三河湾沿岸に特有な墓も発見された。昭和42年(1967)に県の史跡に指定され、出土品の一部も昭和49年に県指定文化財となった。

③ 本刈谷神社 【もとかりやじんじや】

元刈谷地内にあった八雲社・北野社、熊村地内にあった八幡社の3社が大正2年(1913)に合祀されて、八雲社のあった場所に奉還して本刈谷神社とした。3社の祭神であった須佐之男命、菅原道真、菅田別命を祀っている。

④ 楞嚴寺 【りょうごんじ】

曹洞宗。応永20年(1413)遠州浜松普濟寺の利山義隆により開山した。第7世古堂周鑑のとき刈谷城主水野家の菩提寺となった。徳川家康の生母於大(伝通院)は、岡崎城主松平広忠に離縁され刈谷に戻った後、たびたび当寺に参詣したと伝わる。伝通院ゆかりの品を所蔵し、境内の「水野家廟所」は市指定史跡。



水野家廟所

刈谷市 全域マップ



QRコードをお読みいただくと、刈谷の地図と周辺の史跡が表示されます。

城下町周辺 じょうかまちしゅうへん

刈谷町が城下町として整備され始めたのは慶安期(1648~52)とされ、以後、刈谷城に付随して大いにぎわった。刈谷城の南には寺が集い、城下の寺町の風情を見せている。

元刈谷 もとかりや

天文2年(1533)水野忠政による刈谷城築城以前は、現在の本刈谷神社付近に刈谷城が位置していたため「本刈谷」と呼ばれた。本多家の時代になると、本多家をはばかって本の字を「元刈谷」と改めたといわれる。西側の川沿いは、江戸時代に新田開発がすすめられた。

お問い合わせ

刈谷市歴史博物館

〒448-0838 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1
TEL:0566-63-6100 FAX:0566-63-6108
<http://www.city.kariya.lg.jp/rekihaku/>

1 松秀寺 【しょうしゅうじ】

寛正4年(1463)創建。曹洞宗の寺で、本尊は釈迦牟尼仏。境内には、天誅組に参加した宍戸弥四郎の墓がある。延宝4年(1676)刈谷の町人が寄進した「木造十一面観世音菩薩立像」は、市指定文化財。



松秀寺

2 秋葉社 【あきはしゃ】

秋葉神社 (万燈祭発祥の地)

宝暦6年(1756)この地に秋葉堂が建てられ、翌年から祭りが行われた。安永7年(1778)には笛や太鼓とともに万燈が登場している。

万燈祭は火難防除・町内安全祈願のため、現在も続けられており、県の無形民俗文化財に指定されている。



秋葉社

3 十念寺 【じゅうねんじ】

浄土宗西山禅林派の寺。本尊の「木造阿弥陀如来坐像」と元禄15年(1702)阿部伊予守正春が寄進した「木造十一面観世音菩薩立像」はともに市指定文化財。境内には刈谷藩主土井家の廟所(市指定史跡)のほか、天誅組総裁松本奎堂や俳人の中島秋琴の墓がある。



十念寺

城下町周辺 散歩ルート



4 宍戸弥四郎生誕の地 【ししどやしろう せいだんのち】

(宍戸弥四郎碑)

宍戸弥四郎は、刈谷藩士宍戸弥助6男で、天保4年(1833)1月14日生。諱は昌明。官職をやめた弥四郎は関東各地で勤王の士と交わり、尊王攘夷論が高まる中、文久3年(1863)天誅組の挙兵に合図係として参加した。



宍戸弥四郎碑

5 専光寺 【せんこうじ】

真宗大谷派。創立時期不詳だが、初めは天台宗で、室町時代に蓮如上人が訪れた際に改宗したとされる。県指定文化財「往生要集」「美濃国鍛冶系図」、市指定文化財「絹本淡彩真慧上人画像」「地獄の絵巻物」「紺紙金泥大般若経」所蔵。境内のクスノキは市指定天然記念物。



専光寺 クスノキ

6 長遠寺 【じょうおんじ】

日蓮宗の寺院。万治元年(1658)に緒川(現東浦町)の越境寺の日信が隠居した道場が起源。寛文年間(1661~73)の初めに越境寺の日慶が寺として取り立てた。稲垣家や阿部家、三浦家など刈谷の歴代藩主の崇敬が篤かった。

7 海会寺 【かいえいじ】

創立時期は不詳だが、応永年間(1394~1427)、遠江国浜松の普濟寺の利山義聡に帰依し、曹洞宗に改宗したといわれる。刈谷藩主稲垣氏に庇護された。本尊の聖観音菩薩立像は平安末~鎌倉の作といわれ、県指定有形文化財。

8 西勝寺 【さいしょうじ】

創立時期は不詳だが、寛正2年(1461)に最勝が蓮如上人に帰依し、浄土真宗に改宗としたといわれ、顕如上人の御影や教如上人の書状などを所蔵。本尊の阿弥陀如来像は元和2年(1616)に本山から下賜されたものとされる。



西勝寺

9 実相寺 【じっそうじ】

創立時期は不詳だが、江戸初期頃と考えられる。境内には、卍を模倣した紋章のついたキリシタン燈籠がある。本尊の阿弥陀如来立像のほか、客仏の阿弥陀如来坐像があるが、これは10世紀末頃作とされ、現在刈谷市域で確認できる最古の仏像。



実相寺